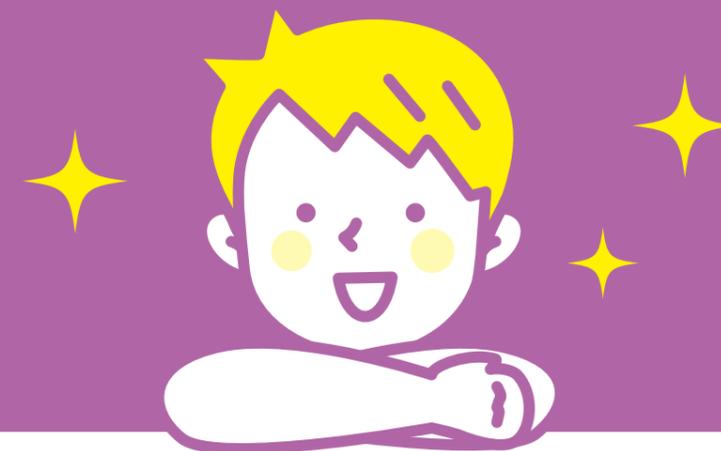


## Ⅳ 基本計画 第二章 4

政策目標4～自然・共生

### 自然と調和し、 うるおいを感じられるまち

- 4-1 カーボンニュートラルの推進
- 4-2 循環型社会の形成
- 4-3 環境保全の推進
- 4-4 自然保護の推進・自然環境の利用促進



4-1

# カーボンニュートラルの推進

SDGsとの関連性

- 5 ジェンダー
- 7 エネルギー
- 9 産業化と技術革新
- 11 持続可能な都市
- 12 持続可能な生産・消費
- 13 気候変動
- 14 海洋資源
- 15 陸上資源
- 17 実施手段

## 1 | 成果指標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)
温室効果ガス排出量	自治体排出量カルテによる公表数値で温室効果ガスの削減量を測る指標です。(R6.4環境省) 287千t-CO <sub>2</sub>	全道平均	全道平均

## 2 | 現状と課題

### ○施策を取り巻く社会環境

世界において脱炭素の取り組みが加速しており、我が国においても2050年のカーボンニュートラル及び2030年度までの温室効果ガスを46%削減することが目標設定されています。カーボンニュートラルは経済や社会文化など多様な要素から成り立っており、全国の自治体では再生可能エネルギーの推進をはじめ、省エネや環境教育、ごみの減量化、持続的な地域経済活動など、地域の特性を生かした様々な取組が進められています。

### ○根室市の状況

本市では、2023年(令和5年)2月、二酸化炭素実質排出ゼロを目指すこと(ゼロカーボンシティ)を表明し、市全体で取り組むため「地球温暖化対策推進実行計画(区域施策編)」の策定を進めています。

本市は、海に囲まれ森林や湿地などCO<sub>2</sub>を吸収する自然に恵まれている一方で、再生可能エネルギーのポテンシャルも高いことから、関係法令等に基づく手続きを通じた自然環境や生活環境への適正な配慮の確保を図りながら、地域特性を生かしたカーボンニュートラルの取組を進めることが必要です。

# MIRAI with NEMURO

10年後の目指す姿

脱炭素社会の推進により  
環境にやさしさがもたらされています。

## 10年後の姿を実現するための取組方針

### ①温室効果ガスの削減に取り組みます

ゼロカーボンシティ達成に向けて、市民、団体、事業所、行政が一体となって省エネルギーや再生可能エネルギー設備の普及促進など、温室効果ガスの削減を目指します。

#### 主要な取組

省エネルギー・再生可能エネルギー設備の普及促進、公用車のEV化、公共施設の省エネルギー・創エネルギー化

### ②一人ひとりの脱炭素の取組を推進します

脱炭素社会の形成には個人ができる取組を一人ひとりが実施していくことが重要です。そのため、市民が脱炭素の取組を知る機会を増やし、脱炭素への意識向上と日常の行動のなかにある脱炭素について普及啓発に努めます。

#### 主要な取組

個人や家庭、地域でできる取組の普及啓発、環境配慮商品の利用促進、各種イベントでの普及啓発

## 4-2

# 循環型社会の形成

SDGsとの関連性

- 5 ジェンダー
- 7 エネルギー
- 9 産業化と技術革新
- 11 持続可能な都市
- 12 持続可能な生産・消費
- 13 気候変動
- 14 海洋資源
- 15 陸上資源
- 17 実施手段

### 1 | 成果指標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)
廃棄物の資源化率	根室市の廃棄物における資源化した割合で、ごみの発生抑制化を測る指標です。	30.0%	35.0% 40.0%
町会等の資源回収量	町会等が実施する資源回収量の総トン数で、市民意識の醸成度を測る指標です。	281t	維持 維持

### 2 | 現状と課題

#### ○施策を取り巻く社会環境

気候変動や廃棄物問題、生物多様性など、地球規模の環境問題が広がりを見せるなか、国は国際的な協調・連携のもと、天然資源の消費の抑制、環境負荷の低減など循環型社会の形成の取組を進めてきました。

その取組により、資源生産性を向上させ、最終処分量を着実に減少させている一方で、資源循環と循環利用については、今後さらなる取組が必要とし、製品の製造から廃棄物処理・リサイクル処理までの連携と適正な取組を推進するとともに循環資源の分別、収集、利用への意識変革が求められています。

#### ○根室市の状況

これまで本市では、家庭・事業所から排出される廃棄物の発生抑制や資源ごみの分別の徹底、再利用を促進するため、3R<sup>※1</sup>や分別方法などの周知に努め、市民一人ひとりの意識向上を図り、循環型社会の形成に向けて市民・事業所・行政が一体となった取組を進めています。

※1 3R: Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称です。

# MIRAI<sup>with</sup>NEMURO

10年後の目指す姿

循環型社会が形成された  
ごみの少ないまちが実現しています。

### 10年後の姿を実現するための取組方針

#### ①循環型社会形成の意識向上に努めます

ごみの発生を抑制する3R(リデュース、リユース、リサイクル)<sup>※2</sup>の推進を重点に、環境学習やリサイクルバザールの実施等を行い、循環型社会形成の意識向上に努めます。

##### 主要な取組

環境学習の推進、リサイクルバザールの実施、水平リサイクルの推進

#### ②ごみ減量化と資源化を推進します

循環型社会の形成にはごみの減量化と資源化の推進が重要であることから、ごみの分別指導の強化や出前講座の実施、資源回収団体への奨励金の交付等を行い、家庭・事業所から排出されるごみの減量化や分別を促進します。

##### 主要な取組

ごみの分別指導の強化、出前講座の実施、資源回収奨励金の周知・交付、コンポスト購入の助成

※2 リデュースは、製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物の発生を少なくすること。リユースは、使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること。リサイクルは、廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること。

# 4-3

## 環境保全の推進

SDGsとの関連性

- 5 ジェンダー
- 7 エネルギー
- 9 産業化と技術革新
- 11 持続可能な都市
- 12 持続可能な生産・消費
- 13 気候変動
- 14 海洋資源
- 15 陸上資源
- 17 実施手段

### 1 | 成果指標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)
公害苦情処理件数	2件	0件	0件
不法投棄苦情処理件数	4件	2件	1件
ボランティア清掃支援事業登録数	29	35	40

### 2 | 現状と課題

#### ○施策を取り巻く社会環境

環境保全は、自然資源の持続可能な利用や再生、生物多様性の保全、大気や水の浄化、エネルギーの効率的な利用などの取組を社会全体で進め、地球上の生態系のバランスを保ち、将来の世代に美しい環境を受け継ぐことが必要です。

人々が安全で快適な生活のために必要な生活環境を守るため、生活や事業活動から生じる排出ガス、水質汚染の防止などの大気や水質を守る取組や緑地整備、海岸清掃などの自然環境を守る活動など、多様な取組が求められています。

#### ○根室市の状況

環境負荷の軽減に向け、循環型社会の形成と水質汚濁や騒音・振動などの公害防止、不法投棄防止対策を進めており、また、環境問題に関する周知啓発に努め、安心して快適な生活環境を確保し、市民一人ひとりの環境保全意識の醸成を推進しています。

# MIRAI with NEMURO

10年後の目指す姿

安全で快適な生活環境が保たれています。

### 10年後の姿を実現するための取組方針

#### ①公害の発生予防、防止に努めます

日常生活や事業活動から生じる水質汚濁や騒音・振動などの公害の発生予防、防止のため、周知・監視・指導を継続し、安全で快適な生活環境の保全に努めます。

主要な取組

公害防止パトロール、各種イベントでの環境保全意識の普及啓発

#### ②不法投棄の防止に努めます

ごみの不法投棄は景観や生活環境の悪化につながるため、不法投棄をさせないまちを目指します。また、ねむろ自然の番人宣言を構成する市町村や賛同いただいている団体・事業所とも連携し、不法投棄防止に努めます。

主要な取組

不法投棄啓発看板の設置、「ねむろ自然の番人宣言」の周知促進

#### ③市民、団体、事業所、行政が一体となった環境保全活動を推進します

本市の豊かな自然を守るため、市民、団体、事業所、行政が一体となった環境保全活動が重要になるため、ボランティア清掃の支援や全市一斉清掃などにより、市内の環境保全に努めます。

主要な取組

ボランティア清掃の支援、全市一斉清掃の実施

## 4-4

# 自然保護の推進・ 自然環境の利用促進

SDGsとの関連性

- 5 ジェンダー
- 11 持続可能な都市
- 12 持続可能な生産・消費
- 13 気候変動
- 14 海洋資源
- 15 陸上資源
- 17 実施手段

### 1 | 成果指標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R11)	目標値 (R16)
自然保護思想の高揚を図るための事業への参加者数	280人	390人	500人
エゾシカ有害駆除頭数	2,000頭	2,500頭	3,000頭
野生鳥獣被害防止のための普及啓発事業への参加者数	60人	85人	110人

### 2 | 現状と課題

#### ○施策を取り巻く社会環境

自然環境保護への理解や自然環境意識の低下から、貴重な自然環境が失われつつあることから、その保護保全に向けた普及啓発が求められるとともに、年々増加する野生鳥獣による各種被害は甚大であり、人身事故も発生する等、それらに対応する被害防止体制を構築する必要があります。

#### ○根室市の状況

貴重な自然環境の保護・保全を図るためには、行政だけでなく、市民、企業や関係行政機関等が一体となった自然保護が必要であり、特に、風蓮湖・春国岱はラムサール条約登録湿地に指定される等、全国有数の自然環境であることから、それを将来にわたり持続的に利用するための自然環境調査や自然保護意識の高揚を図るための普及啓発活動に取り組んでいます。

また、野付半島・風蓮湖・根室半島地域が国立公園候補地に指定されたことから、その機運醸成に向けた動きが求められています。

さらに、エゾシカやヒグマ等の野生鳥獣による各種被害を防止するために、根室市鳥獣被害対策実施隊員の体制強化や関係機関との連携強化が求められています。

# MIRAI with NEMURO

10年後の目指す姿

恵まれた自然環境が守られ、  
自然と人とのふれあいで満ちています。

### 10年後の姿を実現するための取組方針

#### ①市民や企業等と連携した自然環境の保全を推進します

春国岱原生野鳥公園をはじめとする、豊かな自然環境を保全するため、市民や企業、関係行政機関等と連携したなかで、保護保全活動に係る取組を充実させます。

主要な取組

自然環境保全活動の実施、希少鳥類保護活動の実施

#### ②野生鳥獣による被害防止対策を推進します

エゾシカやヒグマをはじめとする、野生鳥獣による被害防止を図るため、市民向けの普及啓発活動に加え、被害防止対策の担い手である、根室市鳥獣被害対策実施隊員の確保・育成を行い、被害防止体制の強化を図ります。

主要な取組

鳥獣被害防止計画に定める対象鳥獣からの被害防止・普及啓発被害防止のための捕獲活動、捕獲活動に従事する鳥獣被害対策実施隊員の確保・育成